

ひしたしょうがっこうきょうどしりょうかん

# 日下小学校郷土資料館

笹下3丁目 日下小学校3階

日下小学校は1903年（明治36年）に開校しました。そして開校70年記念などで集めました郷土資料に、さらに開校100年を記念して多くの方々からの郷土資料を追加して充実させたものです。地域の方、卒業生の方々の協力で、この地域の日常生活で使われていました生活用品、農作業用具、家を作るときの用具、縄文土器、歴史を著す書物など100点近くが集まりました。これらの用具には、当時からごく最近まで使われ、今でも使えるものもあります。

この地域は、豊かな土地ではありませんでしたが、横浜開港に伴い、横浜村の都市化が進み、蚕、綿、園芸、農作物の栽培などで潤い始め、第二次世界大戦後の急激な都市化で多くの方が住むようになりました。

資料館に展示している様々なものから、戦争前の生活を想像してみてください。そして、今の皆さんの生活がとても豊かになり、便利になりすぎていることがわかるでしょう。そしてちょっと立ち止まり電気、ガス、水道、自動車などが使えない災害時を想像してみてください。

今ここにある用具は、今でも活用できるのではないのでしょうか。災害時には自からの行動をどのようにすべきかを平常時においても考えておき、資源を大切にしておくようにしたいものです。

郷土資料館に立ち寄り、昔をしのび、新しい時代に向けて研鑽の参考にしてください。

資料館館長 北見繁男

